

項番	ページ番号 (1番下の番号)	事務事業名 (ない場合は空欄)	意見等
1	7		「(1) 新時代を切り拓くさいたまらしさの深化」で取り組む各種まちづくり事業において、高齢者・障害者・妊婦・病人などが移動しやすくなるよう、当事者の声を広く取り上げて企画を進めてほしい。
2	11	障害者(児)の移動支援事業の拡大	移動が大変な障害者(児)にとっては必要な支援だと思う。 ヘルパーさんが不足しているようですが、介護に関わる人材の育成をお願いしたいと思います。
3	11	都市公園課	旧大宮警察跡地について、公園整備は良いことだと思うが、地域の方々のためだけでなく、市全体の市民のためになるかどうかを含めて検討をお願いしたい。 あとと他の施設建設の為公園をつぶれることのないように。
4	11	幼児・放課後児童課	民設放課後児童クラブの整備促進と余裕教室などの活用について、障害児でも受け入れる児童クラブがあってほしい。待機の無いように。
5	13	防災課	防災アドバイザー派遣について、地域を守るためには一般住民だけでなく全般の障害者に対する支援方法などの理解・知識が必要だと思う。
6	22	障害政策課	ノーマライゼーション普及啓発事業について、市民のつどいで周知しても効果はあるのか疑問。毎月発行の広報紙に、ノーマライゼーション条例とは何か、手話言語の大切さ、あらゆる障害者に対する理解・支援方法などを含めて1ページの1/2でも載せ続けるとか工夫してもらえたらと思う。
7	22	ノーマライゼーション普及啓発事業	一般市民にとって、障害者関連の事柄、催し物は、まだまだ、「障害者とその家族・関係者の活動」であり、自分には関係ないとの意識が現状だと思います。 そこで、障害者の政策、障害者施設の紹介、活動など、自治会など地域の団体、組織と協力して、もっと広報することが相互理解につながると考えます。 私は自治会活動をしておりますが、障害に関する掲示物は、あまり見かけません。 地域と連携した広報活動を実施してはいかがでしょうか。
8	27	福祉介護人材確保の養成確保事業	福祉介護分野での人材不足は深刻であり、早晚、制度はあってもサービス提供ができない事態が想定される。高齢・障害・児童等に共通の課題として、全庁的に取り組んでほしい。
9	27		どの業界も人手不足であり、障害者支援体制にも、実務が追い付かない状態なのではと懸念しています。 障害者福祉の場で仕事をしている人は、この分野で社会貢献したいとの希望、志がある人ですので、云わば、要望する側も実現する側も、「障害に関わっている同志」です。 目標の達成のみが目的にならぬよう、活動している行政組織、支援施設などが、やりがいをもって活動できるよう希望します。
10	28	社会福祉法人・施設指導監査事業/介護・障害事業指導監査事業	両事業の予算の額は、基本的には実施件数によるものでしょうか。それほど増減がないということは、前年度と同規模の件数での実施という認識でよろしいでしょうか。
11	33	ノーマライゼーション推進事業	4発達障害者支援体制整備事業 5年度に比較して約15万円減額です。 家族支援をわざわざ「発達障害児」と子供対象にして、更に予算を減額したということは、6年度の家族支援は5年度と同様に思春期前のほんの一部の親だけが対象であり、家族の大半を占める「思春期以降の親支援」「親以外の家族支援」が予算の対象外ということになりそうで納得できません。親亡き後の発達障害者支援は兄弟姉妹が担うことになり、親のいない発達障害児は祖父母や親戚が支援を行い、発達障害者を親に持つ健全の子どもには、ヤングケアラーとして支援が必要です。発達障害者と結婚した配偶者に対して、講座やピアカウンセリング等の支援はないのですか？年齢に関係なく発達障害児者の家族に、幅広い支援が行きわたるよう予算の見直しを求めます。
12	33	ノーマライゼーション推進事業	障害者の権利の擁護の推進事業について、増減を教えてください。市内の障害者虐待の状況を見ると、現在実施しているグループホームの職員を対象とした研修に限らず、他の事業種別も含めたさらなる研修の充実の必要を感じています。
13	33	障害者福祉執行管理事業	地域自立支援協議会事業について、増減を教えてください。
14	36	自立支援給付等事業	扶助費の中でも最も多い約46億円の増ということで、前年度以上の増額での実施となりますが、内訳で特徴的なものがあれば教えてください。
15	40	障害者施設管理運営事業	障害者施設の整備に当たっては、基本計画策定・基本設計の時点から、利用者など当事者の声を広く取り入れて進めてほしい。
16	40	障害者施設整備事業	予算減額とする背景を教えてください。(充足している、整備を希望する事業者がない等)

項番	ページ番号 (1番下の番号)	事務事業名 (ない場合は空欄)	意見等
17	41	障害者総合支援センター障害者支援事業	P18(3)福祉局方針(案)では、障害者の社会参加意識が高く、環境整備や社会資源の開拓の必要性を掲載しています。しかし、P41の障害者社会参加支援事業が減額されました。障害者が自立して社会参加を目指すための費用がなぜ減額されたのでしょうか。これからますます必要な費用だと思えます。本事業は、講座等の開催のようですが、開催内容の質と量は落とさずに、開催費用を見直して予算案が減額なのでしょうか？
18	41	障害者総合支援センター障害者支援事業	P18の(3)で、障害者の就労意欲にこたえる事や、困難事例への対応の必要を述べていますが、P23の32番で減額されていました。中でも、P41の障害者就労支援事業の減額が大半を占めていました。P18(3)の福祉局方針(案)内容と反しています。障害者対象の就活講座とジョブコーチによる職場定着の拡充を求めて、予算を見直してください。
19	42	発達障害者支援センター運営事業	5発達障害者地域支援マネジャーの設置は、厚労省が県や指定都市に求めた施策であり、さいたま市において設置されたことは、とても感謝しています。その反面、従来の1発達障害者支援連絡協議会の運営、2発達障害者支援事業、4学生向けキャリア形成支援事業が少し減額となりました。減額理由が気になりますが、2と4の減額について再考をお願いします。
20	47	体育館等管理運営事業	武蔵浦和地区における新設スポーツ施設の基本計画策定に当たっては、障害者などハンディキャップのある利用者の声を広く取り入れて進めてほしい。
21	51	口腔保健センター整備事業	(仮称)さいたま市口腔保健センターの基本設計に当たっては、高齢者・障害者などハンディキャップのある利用者の声を広く取り入れて進めてほしい。
22	68	人権教育推進事業	ノーマライゼーションの推進のためにも、障害福祉人材の確保のためにも、こうした事業の中に障害への理解を深める機会がつけられることが重要と考えます。障害関係課と教育委員会との連携による予算等の充実をお願いします。
23	その他		厚労省が指定都市や市町村に求めた発達障害支援施策の中から、いくつかさいたま市の予算案に見当たらないものがあります。 1巡回支援専門員整備事業 子どもや親が集まる施設への巡回と、個別訪問について、さいたま市の予算案に見当たりません。 2発達障害者等青年期支援事業 青年期の発達障害者に対するワークショップ等の開催が予算案に見当たりません。学生向けのキャリア形成支援とは別に、学生とは関係ない厚労省の求める青年期の支援が、さいたま市の予算案に反映されていません。 3かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業 (1)発達障害専門医療機関初診待機解消事業 (2)発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業 …これらの事業は、さいたま市の予算案に含まれておりますか？ 4家庭・教育・福祉連携推進事業 教育・福祉の連携を強化し、障害のある子どもとその家族の地域生活の向上を図るため、家庭・教育・福祉をつなぐ「地域連携推進マネジャー」を市町村に配置し、教育と福祉の連携を推進するための方策について、さいたま市は予算案に組み込まれておりますか？ 厚労省が求めている施策について、さいたま市でも導入するよう検討をお願いします。
24	全体	防災訓練事業(防災課)	障害者の個別避難計画の充実に関心があり、今年度校区における避難所開設・運営訓練への参加等を通じて地域住民への啓発を図りました。今般の能登半島地震でもやはり災害弱者の避難に大きな課題が生じていますので、防災課の事業ですが是非とも所管課を超えた予算等の充実を図ってくださるようお願いします。